

## 環境に配慮した取組み

### ～環境負荷低減を目的とした共同研究の開始～

2009新経営計画、チャレンジVの『グループ会社を交えた民間会社・大学等との共同研究により中日本グループの総力を結集して新技術・新工法、新材料の開発を推進』として、環境負荷軽減を目的とした下記2件について、共同研究を契約締結しました。

#### (1)アスファルト舗装の中温化技術に関する研究

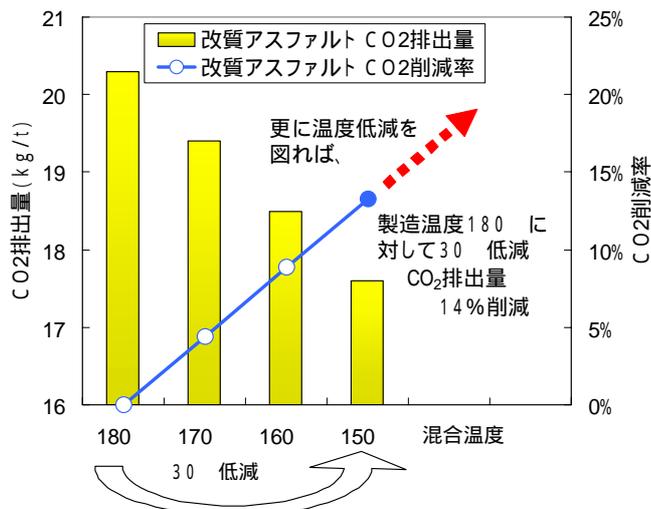
アスファルトプラントにおけるCO<sub>2</sub>の排出抑制及び交通規制時間の短縮を目的に、アスファルト混合物の製造温度を通常のもの(180 程度)よりも低下(目標100 程度)させる技術を開発。

契約期間は2012年8月まで

契約先は下記のとおり。

- ・ 東亜道路工業 株式会社
- ・ 株式会社 日本道路
- ・ 株式会社 NIPPO

当研究はグループ会社である、「中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社」も参画します。



#### (2)維持管理植物発生材を活用した木質ペレット製造技術に関する研究

地球環境に配慮した高速道路空間を創出する一方策として、高速道路の植栽維持管理業務から出る刈草などを主体としたペレット(燃料)の製造技術を開発

契約期間は2009年12月まで

契約先は下記のとおり。

- ・ 新興工機 株式会社
- ・ 株式会社 御池鐵工所

